



# 中村とうようコレクション展

楽器とレコードを中心に

会期 | 2011年7月4日(月)~9月24日(土)

会場 | 武蔵野美術大学 美術館

開館時間 | 10:00-18:00 土曜日、特別開館日は17:00まで

休館日 | 日曜日、祝日、8月7日(日)~9月4日(日)

特別開館日 | 7月18日(月)、9月23日(金)

入館料 | 無料

主催 | 武蔵野美術大学 美術館・図書館

共催 | 武蔵野美術大学 造形研究センター

特別監修 | 中村とうよう(造形研究センター 客員研究員)

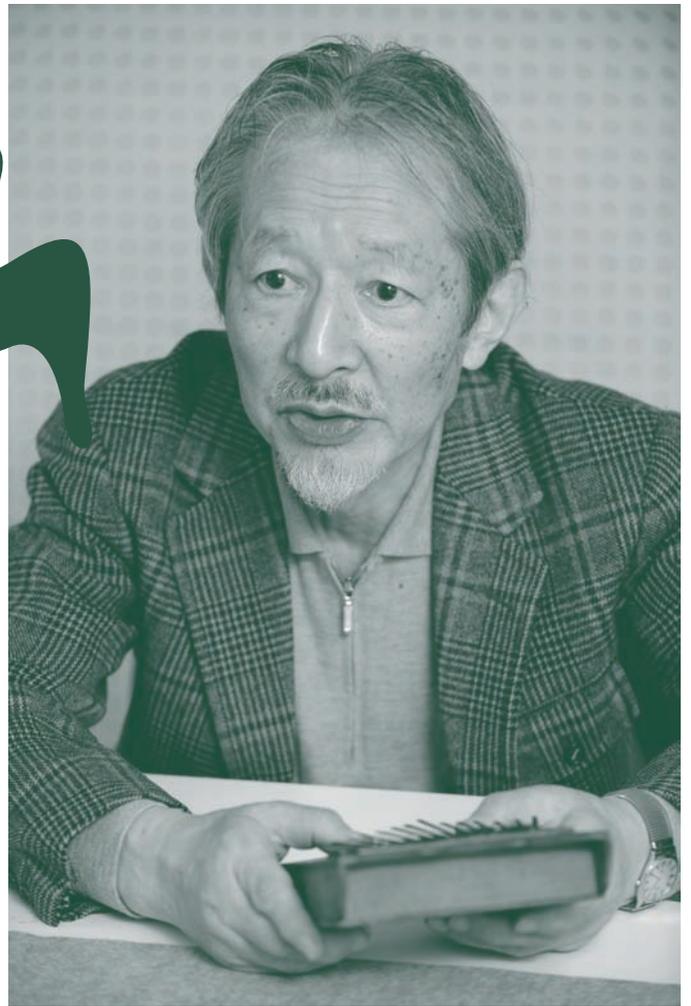
監修 | 柏木博(武蔵野美術大学 造形文化・美学美術史 教授)

当館は、わが国のポピュラー・ミュージック研究の草分けのひとりであり、音楽雑誌「ミュージック・マガジン」(1969年創刊)の初代編集長である音楽評論家、中村とうよう氏の所蔵されていた音楽関連コレクションのすべてを、2006年にご寄贈いただきました。その内容には、ジャズ、ポピュラー音楽、民族音楽を含む世界各国のSPレコード、LPレコード、文献、民族音楽など、幅広く網羅されています。

本展では、この中村氏のコレクションを通して、音とヴィジュアルが交差する新たな魅力を、美大ならではの視点で展覧します。特にLPレコードのジャケットは、1950年代から70年代にかけて、グラフィック・デザイナーたちが競って個性的なデザインを展開した表現の場でもありました。また、それに先行したSPレコードは、今では文化財として後世に伝えるべき音楽メディアの原点です。また、そのレコードを聞くために作り出された蓄音機(オーディオ機器)も、音楽の歴史を伝えるのに欠かすことのできない道具であり、それらの在りし日の姿を顧みるのも、歴史の貴重な追体験となるはず。そして、音楽を生み出すために作られた世界各地のさまざまな楽器は、先人の工夫の足跡を忍ばせております。

現代ではインターネットを通じた音楽配信の普及に見られるように音楽メディアの形態が変化するなか、その「もの」としての魅力のあり方も変容していますが、この展示を通してその役目を終えたアナログ・レコード音楽を身近に体験できる機会を提供することや、民族の誇りを象徴すべく機能的に作り出された楽器の魅力に直に触れることは、作家を養成し「もの」を作り出す大学としては大きな意義のある試みであると考えます。

なお本展は、造形研究センター近代デザイン研究プロジェクトの一環として、センターの客員研究員である中村氏自らが特別監修の立場でこれまでの研究成果をまとめて広く公開いたします。



パラフォン 西アフリカ



コラ 西アフリカ



ウード トルコ



親指ピアノ 中部アフリカ

## 関連企画

### ■スペシャルコンサート

出演 | サカキマンゴ (親指ピアノ/奏者)

ガジュマル・アンサンブル [北澤恵美子、村松友里愛、方波見智子]  
(マリンバ&パーカッション)

公演日 | 9月12日(月)

会場 | 武蔵野美術大学 美術館ホール

### ■SPレコードコンサート

出演 | 中村とうよう

会場 | 武蔵野美術大学 美術館ホール

日時 | 未定

※詳しい公演情報は当館ウェブサイトにてご確認ください。

## MAUM&L

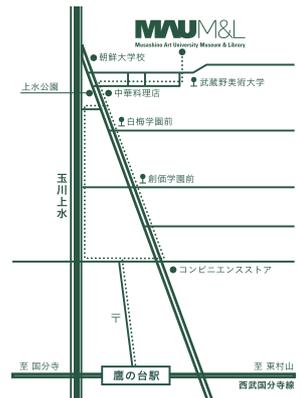
武蔵野美術大学 美術館・図書館

〒187-8505

東京都小平市小川町 1-736

042-342-6003

<http://mauml.musabi.ac.jp/>



## 交通

1. JR中央線「国分寺」駅乗換、西武国分寺線「鷹の台」駅下車、徒歩約20分
2. JR中央線「国分寺」駅下車徒歩3分、西武バス「国分寺駅北入口」停留所発、「武蔵野美術大学」停留所下車(バスの乗車時間約20分)